

2022年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	吹田 隆徳
研究テーマ	浄土教の起源と発展
研究概要	阿闍仏・阿弥陀仏・薬師仏の三仏を取り上げ、比較研究することにより、インドにおける浄土教の起源と発展を調査する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>現存最古の薬師経（T1331、第12巻）の分析と諸本対照に基づき、薬師経における聞名思想は功德文の部分から付加され、後に願文へと付加されたという経典の発達史を明らかにした。その背後には経巻信仰から仏名信仰への移行があったと考えられ、諸本対照の結果からすれば、このような移行は5世紀から7世紀のあいだに起こったと見られる。また上述した薬師経の現代語訳を公開した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>〔論文等〕</p> <p>①単「薬師経に見る聞名思想の加上」『印度學佛教學研究』71(1), pp. 97-102, 日本印度學仏教學会, (2022年12月, 査読有)</p> <p>②共 阿毘達磨集論研究会「梵文和訳『阿毘達磨集論』(7)」『インド学チベット学研究』(26), pp. 39-85, インド哲学研究会 (2022年12月, 査読有)</p> <p>③単「拔除過罪生死得度経: 和訳と訳注」『佛教大学仏教学部論集』(107), pp. 85-111, 佛教大学仏教学部 (2023年3月, 査読有)</p> <p>④共 五島清隆 他「梵文悲華経第4章: 和訳と訳注(1)」『佛教大学仏教学会紀要』(28), pp. 105-128, 佛教大学仏教学会 (2023年3月, 査読有)</p> <p>⑤共 松田和信 他「ごみの山に終わる華鬘の喩え: 第5三啓経の梵文テキストと和訳」『佛教大学仏教学会紀要』(28), pp. 53-78, 佛教大学仏教学会 (2023年3月, 査読有)</p> <p>〔発表〕</p> <p>①の内容について、日本印度学仏教学会第73回学術大会(9月4日オンライン開催)にて発表した。</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>2021年度科学研究費(研究活動スタート支援)「《薬師経》に見るインド浄土教の展開」(採択期間2021年4月1日~2023年3月31日)。</p> <p>2022年度科学研究費(若手研究)「薬師と阿弥陀: インドにおける浄土教の思想的変遷を追う比較研究」(採択期間2022年4月1日~2027年3月31日)。</p>
4. 今後の課題	<p>続命法を説く部分の研究が残されている。また、薬師経の成立に阿弥陀仏經典がどのように関わっているか調査する必要がある。</p>